

【CL名】岩崎さん 【解答者】ヤマチャン 【作成日】2023年10月28日 【作成時間】42分

設問

[問い1] 今ならどのような質問ができるか。

- 1) 「成果が判明しない」とのお話しがあげましたが、「成果」とはどのようなものでしょうか?
- 2) 現在行っている就職活動についてもう少し詳しく教えてください。どこまで進んでいますか?
- 3) 「製造業や工場経営に魅力がある」とのお話しですが「魅力」とはどのようなことでしょうか?
- 4) キャリア上相談者として「誰かのため」といって、改めてどのように思われるでしょうか?
- 5) 「自分がなんとかしなければ」と思われるのは、どうしてそのように思うようになったのでしょうか?
- 6) 「父を助ける」との思いで、半年前に亡なられたとのことですが、どのようなお父様でしょうか?

[問い2] 良かった点と悪かった点 (各2行)

事例ⅠのCC18 (相応しい・相応しくない)

理由: 話し辛いと思われる相談者自身の強み弱みに関することは半年前に亡なられたお父様に対するお気持ちを話し頂けるような配慮が出来、信頼関係の構築が出来ていた点。

事例ⅡのCC19 (相応しい・相応しくない)

理由: 現在の就職活動について詳しく伺うことが出来ず、自己分析の深掘りが不十分に行っていたこと、これによって相談者の持つ価値観をお話し頂くに至らなかった点。

[問い3] クライエントの主訴

冒頭では、自己分析や企業分析などを行い自分なりに頑張っており就職活動をしているものの内定が出ず成果が判明しないとの相談でした。お話しを伺うと、実家が経営する型工場の役に立ちたい思いから、大学では経営学を学んでいるがイメージしていた内容とは大きく異なることを感じた。キャリア上相談者としての時間関係等を打ち切られ、中絶半端になった。このことから、自己理解が不十分となりキャリアプランが明確でないことが現時点での主訴と考える。

[問い4] 今後の展開 (どのように進めるか)

現在の就職活動についてもう少し詳しくお話しを伺い、相談者の自己理解が深まるようお話ししていく。また、面談の中でお話し頂いた半年前に亡なられたお父様に対するお気持ちを察り添いながら面談を進めることで、信頼関係の構築に努める。これにより、キャリア上での話しにあった強みである「論理的に考える」という部分を重点を当て、深掘りすることで内情を促し、なぜ内定が出ず成果が判明しないのか、実家の工場経営をどうしたら助けるのが大学で学んでいることをどう活かすかを明確にするお話しをし、最良の意思決定ができるお話しをする。